

2025年度

研究助成



詳細はこちら

食物アレルギーに関連する
問題解決を目指す
研究者及び研究グループに対する
助成事業です。

助成対象期間

2025年 4/1日

2026年 3/31日

募集期間

2024年 7/12日

2024年 9/30日

消印有効

●対象研究領域

- ① 食物アレルギー対応食品に関する研究
- ② 食物アレルギーの予防に関する研究
- ③ 食物アレルギーの診断・治療に関する研究
- ④ 食物アレルギーに関する工場内等での衛生管理に関する研究
- ⑤ 食物アレルギーに関するその他研究（社会科学的な研究を含む）

上記領域はすべて重要ですが、特に①②を歓迎致します。

区分及び
件数等

共同研究

上限600万円×5件(予定)

個人研究

上限200万円×15件(予定)

●専門領域を異にする複数の研究者(※)が、同一テーマに関し、広範に共同研究する場合を対象にします。

※異分野、他機関との積極的な交流を期待しています。
研究体制に食品科学の研究者が入り、医学、薬学、保健、栄養等、異分野かつ他機関が参加していることを歓迎いたします。

●若手研究者（2025年4月1日時点で45歳以下）による
単独研究を対象とします。

※両区分とも、提案が適切であれば、新たに食物アレルギーに取り組む方も積極的に支援したいと考えています。

※2024年度実績：採択件数（共同研究：6件（採択率67%）、個人研究：16件（採択率64%））助成金総額：6,278万円

※その他にも応募条件等があります。詳細は募集要項を必ずご確認ください。



ニッポンハム
食の未来財団

<https://www.miraizaidan.or.jp>
E-mail:info@miraizaidan.or.jp



2024年度 研究助成採択課題 (助成対象期間：2024年4月1日から2025年3月31日)

共同研究助成：受理9件→採択6件 **採択率67%**

敬称略、50音順

	研究課題名	所属機関・氏名	共同研究者所属機関・氏名
1	野菜摂取と学童期の食物アレルギー：腸内細菌を含む網羅的コホート研究	龍谷大学 農学部 食品栄養学科 小児保健栄養学研究室 教授 楠 隆	栄養・病理学研究所 代表 塚原 隆充 奈良県立医科大学 臨床研究センター 特任講師 武内 治郎
2	重症果物およびナッツ類アレルギー診断における GRP の有用性	藤田医科大学ばんだね病院小児科 教授 近藤 康人	京都女子大学名誉教授 成田 宏史 京都女子大学 家政学部 教授 門間 敬子
3	食物アレルギーの治療における D- アミノ酸含有ピオチニル化ペプチドの有用性の検証	宮城学院女子大学 生活科学部 食品栄養学科 教授 佐藤 陽	富山大学院 准教授 歌 大介 医療創生大薬・助教 大平 慎
4	小麦アレルギー予防経口酵素剤の高効能化を実現する、第二世代グルテン分解酵素の創生	京都府立大学 生命理工情報学部 准教授 田中 俊一	立命館大学 生命科学部 教授 松村 浩由 京都府立大学 農学食科学部 講師 田代 有里
5	ポリフェノール代謝物による樹状細胞遊走調節を介した食物アレルギーの制御	近畿大学 理工学部 准教授 早坂 晴子	島根大学 教授 室田 佳恵子 岡山大学 准教授 中村 俊之
6	食物蛋白誘発胃腸症 (FPIES) 患者の尿中脂質バイオマーカーの探索	国立成育医療研究センター・アレルギーセンター 室長 山本 貴和子	東京大学大学院農学生命科学研究科 准教授 村田 幸久

個人研究助成：受理25件→採択16件 **採択率64%**

敬称略、50音順

	研究課題名	所属機関・氏名
1	水溶性食物繊維 (イヌリン) を用いた重症心身障がい児の腸内細菌叢改善によるアレルギー予防戦略の開発	関西医科大学 医学部 小児科学講座 講師 赤川 翔平
2	IgE 交差抗原による食物アレルギーの病態解明と予防法開発	順天堂大学大学院医学研究科アトピー疾患研究センター 特任助教 貝谷 綾子
3	獣肉アレルギーとセツキシマブ過敏症の関連性に関する前向きな検討及びセツキシマブ過敏症のスクリーニング法の考案	高知大学大学院 総合人間自然科学研究科 (博士課程) 医学専攻 医療学コース 臨床腫瘍学 (臨床腫瘍専門医) 大学院生 佐藤 拓弥
4	ペクチンアレルギーにおけるカシューナッツアレルギーとの関連の解明と診断方法の開発	国立病院機構三重病院 小児科 / アレルギー科医師 高瀬 貴文
5	上皮細胞傷害性を示すナノ粒子が皮膚感作と食物アレルギーに及ぼす影響の解析と予防対策の創出	大阪大学大学院薬学研究科 准教授 武村 直紀
6	胃食道逆流を背景とした牛乳アレルギーモデルマウスの感作初期の自然免疫の解明	名古屋市立大学医学部附属 東部医療センター 助教 谷田 寿志
7	アニサキスアレルギー患者のアニサキスアレルギーコンポーネントと病態の解析	兵庫医科大学 医学部 糖尿病内分泌・免疫内科 助教 田村 誠朗
8	状態の異なる鶏卵アレルギーのアレルゲン性の解析	名古屋学芸大学 助手 内藤 宙大
9	アレルゲン性を基盤とした IgE 受容体の脱感作メカニズムの解明と食物アレルギー治療への応用	金沢大学 医薬保健研究域 薬学系 助教 長田 夕佳
10	食物アレルギーによる骨減少と多価不飽和脂肪酸による制御	愛知淑徳大学 食健康科学部 食創造科学科 准教授 西澤 早紀子
11	成人に持ち越した小児発症食物アレルギー患者の社会的自立度に関する実態調査：Web を介した population-based study	独立行政法人国立病院機構相模原病院 臨床研究センター 臨床研究推進部長 福富 友馬
12	種々の環境物質への対策を通じた経皮感作食物アレルギー予防の可能性	京都府立医科大学大学院医学研究科 免疫内科学 病院助教 藤岡 数記
13	食物アレルギーに対する舌下免疫療法の予防効果と作用機序の解明	宮崎大学 医学部 医学科 感染症学講座 免疫学分野 助教 三苫 修也
14	超重症牛乳アレルギー患者に対する極微量牛乳経口負荷試験が耐性誘導に与える有効性を検証する前向き観察研究	昭和大学 医学部 小児科学講座 助教 山下 恒聖
15	小児牛乳アレルギー患者における重症化メカニズム解明とビタミン D 併用による新規経口免疫療法の開発	千葉大学医学部附属病院 小児科 助教 山本 健
16	低アレルゲン化食用 1BS-18 小麦系統を利用した安全性の高い小麦アレルギーの減感作療法の開発	広島大学大学院医系科学研究科 (薬) 准教授 横大路 智治

